

神話スライドset シリーズ

# 月へのぼった少女

スライド枚数 : 9枚  
時間 : 3分31秒  
イラスト : 高部 哲也  
ナレーション : 藤田 淑子

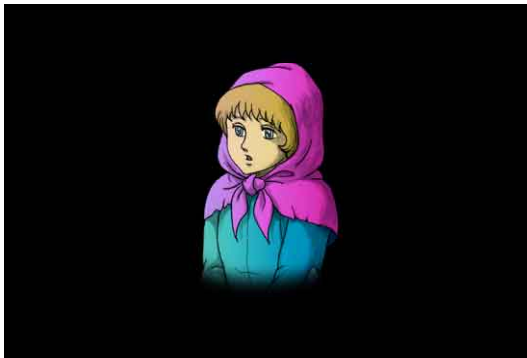
**LIBRA** CORPORATION

+音始まり



1. 寒い寒いシベリアに、1人のかわいそうな女の子がいました。

小さい頃にお父さん、お母さんを亡くし、意地悪なおじさん、おばさんの家を転々としていました。



2. どこに行っても、食べ物はろくにあたえられず、着る物はいつもボロボロ・・・。

朝から晩まで働かされてばかりで、毎日辛い日々を送っていたのです。



3. そんな女の子のたったひとつの楽しみは、夜、月を眺めること。

まるいきれいな月を見上げ、女の子はこう言うのです。

「あそこはきっと、いつも明るくて、温かくて楽しいところに違いないわ。もしかしたら私のお父さん・お母さんもいるのかなあ・・・」

女の子は、月を眺めては心の中でお父さん、お母さんとお話をするのです。



+音変わり



4. ある寒い夜のこと。

「お前、水をくんできておくれ」

意地悪なおばさんが女の子に言いました。

女の子はしかたがなく、桶を持って、一人暗い湖へと向かったのです。



5. ポロポロの服しか着ていない女の子。

凍りつくような冷たい風は、針をさすように痛く、もう歩くことができません。

思わず座りこんでしまい、ふと空を見上げると、そこには、黄色い月がぽっかりと浮かんでいたのです。

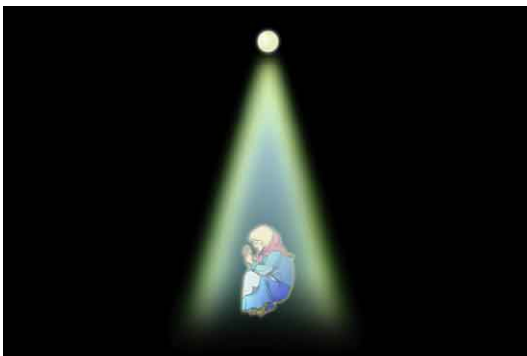


6. 女の子は寒さをこらえながら、力なく月に話しはじめました

でも、いつものように、月は黙って輝くだけ

「もうここで暮らすのはつらいわ。ひとりぼっちはもうイヤ！」

私をあなたのところへ連れてって・・・」



7. 女の子がそう言ったとたん、空から眩い月の光がのびてきて、女の子をすっぽりと包み込んだのです。

女の子は、こうして月へと旅立ちました。



8. いまでも、シベリアの人々は、月を見上げてこう言うのです。

「桶を持った女の子が月にいるんだよ」と。

+音終わり